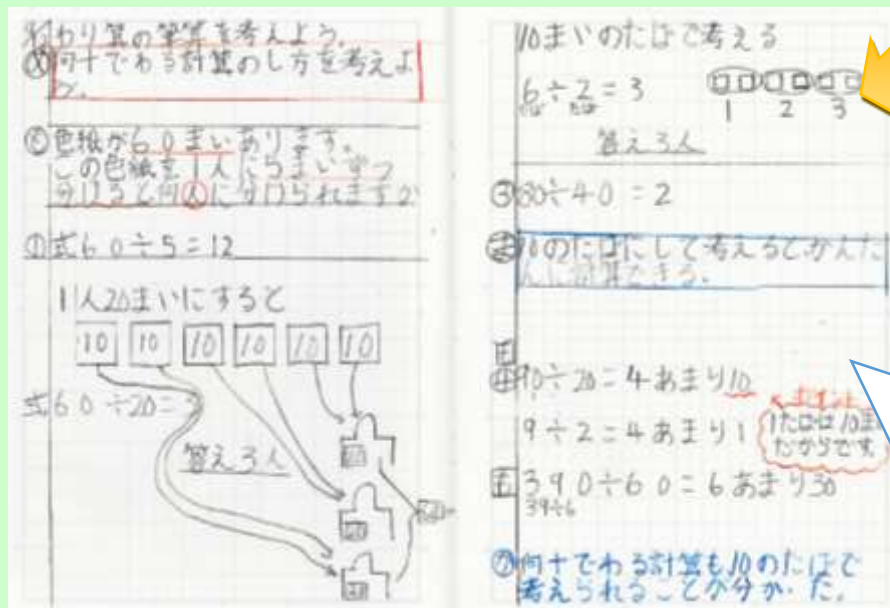


視点②知識・技能の定着を図るための工夫

龍野っ子の
はなまる算数ノート(4年生)

- 【5つのきまり】
- ① じょうぎで、たて線をひく。(1マス分)
 - ② 1行目に日付と単元名を書く。(単元名は最初の時間のみ書く)
 - ③ 2行目に (め) を書く。(めあて→赤でかこむ)
 - ④ めあての最後に、「ふりかえりマス」を書く。
(◎○△でふりかえる)
 - ⑤ 授業のまとめ (ま) は、赤でかこむ。

■ 全学年で統一したノート指導の型を作成している。書き方のきまりを児童のノートに貼り、毎時間の授業で、正しく分かりやすいノートが書けるように活用している。



■ 4年生の実際のノート(単元「わりざん」)。ノートの書き方のきまりに沿って書いている。また、自分の考えを、図や言葉で表現することも大切にしながらノート指導に当たっている。

「たっぴータイム」
業間の15分間に設定している習熟の時間。たっぴーファイルに綴じている学習プリントに取り組む。
職員を複数配置し、個別支援を充実させながら、基礎学力の定着を目指している。



児童一人一人が持つ

■ 「たっぴータイム」の学習の様子。基礎学力の定着に結び付く学習プリントを精選し、綴じ合わせた「たっぴーファイル」を活用している。15分間、児童は集中して習熟に臨む時間となっている。

